学校番号	3026

令和8年度　理科

教科	理科	科目	(学)理科基礎演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	－						
副教材等	ビーライン化学基礎(第一学習社) ビーライン生物基礎(第一学習社)						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

生物基礎・化学基礎で学習した内容を適宜復習しながら、問題演習に取り組みます。基礎的な知識を活用し、さまざまなタイプの問題に取り組むことで、その背後にある科学的な考え方を身に付けていきます。また、実験結果や資料をもとに考察する活動を通して、科学的な事象について探究し、より深く考える力を養うことを目指します。基礎・基本を大切にしながら、主体的に学習に取り組む内容です。

2　学習の到達目標

1. 生物基礎・化学基礎科目における基本的な概念や原理を理解する。
2. 身の回りの化学的・生物的な事象を、日常生活や社会と関連付けて考察できるようになる。
3. 身近な現象に関心を持ち、科学的な見方や考え方を用いて主体的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学/生物や化学/生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けるとともに、化学/生物や化学/生物現象に関する観察、実験の手順や操作方法、実験結果をもとに、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学/生物や化学/生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら化学/生物や化学/生物現象の関係に関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	化学基礎前半範囲	要点定着・基本問題演習 ・原子の構造 ・化学結合 ・物質量 ・化学反応式	a: 基本的な知識や図・グラフの意味を理解している。 b: 基本的な知識やグラフの関連性について説明できる。 c: 学習した知識・技能を用い、科学的な見方で課題等に取り組んでいる。	課題 小テスト 定期考査	課題 小テスト 定期考査	学習状況 課題 小テスト
	生物基礎前半範囲	要点定着・基本問題演習 ・生物の特徴 ・遺伝子とその働き				
2	化学基礎後半範囲	要点定着・基本問題演習 ・酸と塩基 ・酸化と還元	a: 基本的な知識や図・グラフの意味を理解している。 b: 基本的な知識やグラフの関連性について説明できる。 c: 学習した知識・技能を用い、科学的な見方で課題等に取り組んでいる。	課題 小テスト 定期考査	課題 小テスト 定期考査	学習状況 課題 小テスト
	生物基礎後半範囲	要点定着・基本問題演習 ・生物の体内環境 ・生態系				
	応用問題演習	問題演習 ・応用問題 化学基礎 ・応用問題 生物基礎	a: 知識を必要な場面で利用できる。図・グラフの意味を理解し、データ等を抽出できる。 b: 既存の知識や科学的な条件・データからその関連性を説明でき、データ等の整理や加工ができる。 c:科学的な見方で課題等に取り組んでいる。	課題 小テスト 定期考査	課題 小テスト 定期考査	学習状況 課題 小テスト
3	実践問題演習	問題演習 ・実践問題 化学基礎 ・実践問題 生物基礎	a: 知識を必要な場面で利用できる。図・グラフの意味を理解し、データ等を抽出できる。 b: 既存の知識や科学的な条件・データからその関連性を説明でき、データ等の整理や加工ができる。 c:科学的な見方で課題等に取り組んでいる。	課題 小テスト	課題 小テスト	学習状況

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度